

## 22地域職域の同窓生が集まって

●「第12回 地域職域同窓会責任者会議」を終えて！

本日13時30分から麗和会館(浦高敷地内)にて「第12回 地域職域同窓会責任者会議」が開催され、木村恵司同窓会会長(高17)、小島克也浦和高等学校校長(高30)以下55名の会員が一堂に会して22の同窓会からの活動報告などを伺いました。

木村会長のご挨拶「年末年始にかけて世の中ではさまざまな動きがあり、特に新型コロナウイルスの影響で経済界では大きな影響が出始めています。そんな中で母校ラグビー部が大活躍してくれ、皆さんも大いに盛り上がったことと思います。ただ予想以上の活躍で遠征費が不足しているそうですので、応援グッズの購入や支援をお願いします。また、グラウンドの人工芝化もまだ目標に遠いようですのでこちらも協力ください。同窓会では来月から人材ネットワークの動きが始まります。また法人化が具体的にになりますのでご協力ください」

小島校長のご挨拶「花園では関西浦高会の皆様を



はじめ多くのOBの皆様にご支援いただきありがとうございました。教員になって生徒たちの活躍に涙を流したことはなかったの

ですが、今回の花園でのモールによるトライでは青森山田戦、桐蔭学園戦でなぜか涙が止まりませんでした。木村会長からお話がありました浦高ラグビー部全国大会出場特別後援会に対して皆様からのご支援をお願いいたします。また、グラウンドの人工芝化についても在任中には達成することができず心残りですが、次の校長にバトンタッチして目標額6,600万円の達成と早期完成を目指してもらいたいと思います。2年間お世話になりました。同窓会は浦高にとってなくてはならない存在です。私も大宮浦高会の一員として同窓会活動に力を入れてまいります。ありがとうございました」

ここから22の地域職域同窓会から活動報告が始まりました。

スタートは昨年11月11日に27番目の地域職域同窓会として設立した「宇宙麗和会」からでした。宇宙麗和会は、浦中と浦高の卒業生で宇宙科学及び宇宙開発利用に係る科学研究、技術開発、法学的・経済学的研究、事業、政策又はこれらに関連する実務に関わったことがある人たちが構成されているそうです。昨年の設立総会には26名が出席されたそうです。

続いて「麗和ゴルフ会」。平成3年から毎年10月第1木曜日に鴻巣カントリークラブを会場として70~80名同窓生が集まって腕を競うOBゴルフ大会を開催している団体です。昨年の第29回大会実績が報告されました。

「三粋会」は同窓生の親睦と様々な分野の知識習得を目的に平成14年12月から毎月第2木曜日に例会を続けて今年1月で215回を数えたそうです。

「経営者麗和会」は、浦高を卒業し、会社経営に携わる人、個人事業主、会社経営を目指す人たちの集まりで、年1回在校生たちへの講演会を開催しているようで、去年はドローンの話だったそうです。



「昭和大学医学部浦高会」からは説明に立たれた事務局の渋谷勲さん(高35)からは、数年前に話題となった「浦高の共学化」に対する意見が陳述され、最後に「同窓会は常に母校の置かれている状況に対して危機感を持って臨んで欲しい」との要望がありました。唐突の陳述ではありましたが、その意見には共感する方が多かったと思います。

5つの職域同窓会からの活動報告が終わり、ラグビー部の花園出場を地元で迎えてくれた「関西浦高会」から地域同窓会の報告が始まりました。25日の宿舍陣中見舞いに始まり、27日の開会式、1回戦の玉島高校戦、12月30日の青森山田高校戦、1月1日の桐蔭学園高校戦と各地から乗り込んだ大応援団を迎えてくれたそうです。その他、囲碁・将棋の全国大会でも毎回応援を繰り広げてくださっている佐藤進・会長(高17)以下の会員の皆様には感謝です。

「霞ヶ関麗和会」は霞ヶ関官庁街等に勤務する(勤務経験を持つ)浦高出身者の集まりです。総会を毎年1回開催しているようで、トップが杉田和博内閣官房副長官だそうで、事務次官も数名いらっしゃるそうです。

続いては「西部浦高会」。都県境・荒川・西武秩父鉄道線に囲まれた地域をエリアとする西部浦高会は、地域密着型の活動を続けられているようで4月の花見会、8月には総会・講演会、10月の川越まつりめぐりなどを開催し、7月と11月には地元の「浦高百年の森」への参加と報告がありました。

